

クイックリファレンス

商標

ブランド名および製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

当マニュアルの記載事項は予告なしに変更される場合があります。

目次

前書き	iv
1章 ご使用の前に	1-1
コンピュータを起動する	1-1
AC電源の接続	1-1
カバーを開く	1-2
コンピュータのオン・オフ	1-2
コンピュータの各部の説明	1-3
右側のコンポーネント	1-3
左側のコンポーネント	1-3
後部コンポーネント	1-3
底部コンポーネント	1-4
カバーを開けた状態でのコンポーネント	1-5
2章 コンピュータの操作	2-1
コンピュータの起動と停止	2-1
イージースタートボタンの使用法	2-2
キーボードの使用	2-2
カーソル制御キー	2-2
数字キーパッド	2-3
Fnキー	2-3
ホットキー	2-4
タッチパッドの使用	2-4
DVDドライブの使用	2-5
ディスクの出し入れ	2-5
ビデオ機能の使用	2-5
オーディオ機能の使用	2-5
オーディオデバイスの接続	2-6
通信機能の使用	2-6
モデムの使用	2-6

LANの使用.....	2-7
ワイヤレスLAN電波の使用.....	2-7
3章 電源の管理.....	3-1
バッテリーパック.....	3-1
バッテリーパックの充電.....	3-1
バッテリーパックの初期化.....	3-2
バッテリー残量の確認.....	3-2
バッテリーパックの交換.....	3-2
低バッテリー表示および処理.....	3-3
電源の管理.....	3-4
省電力のヒント.....	3-4
4章 コンピュータの機能拡張.....	4-1
周辺デバイスの接続.....	4-1
ExpressCardsの使用.....	4-2
5章 BIOSセットアップの使用.....	5-1
BIOSセットアップの起動.....	5-1
Mainメニュー.....	5-1
Advancedメニュー.....	5-1
Securityメニュー.....	5-2
Bootメニュー.....	5-2
メニューのExit.....	5-3
6章 ソフトウェア・ドライバのインストール.....	6-1
ドライバCDの使用.....	6-1
7章 コンピュータのお手入れ.....	7-1
使用場所のガイドライン.....	7-1
一般的なガイドライン.....	7-1
清掃のガイドライン.....	7-1
バッテリーパックの取扱い.....	7-2
旅行時.....	7-2
8章 トラブルシューティング.....	8-1
一般的なトラブルの解決.....	8-1
バッテリーの問題.....	8-1
DVDドライブの問題.....	8-2
ディスプレイの問題.....	8-2
ExpressCardの問題.....	8-3

ハードウェア装置の問題.....	8-3
ハードディスクドライブの問題.....	8-4
キーボード、マウス、タッチパッドの問題.....	8-4
LANの問題.....	8-4
WLANの問題.....	8-5
モデムの問題.....	8-6
電源管理の問題.....	8-6
ソフトウェアの問題.....	8-6
サウンドの問題.....	8-7
起動時の問題.....	8-7
その他の問題.....	8-8
コンピュータのリセット.....	8-8

前書き

当クイックリファレンスには、コンピュータの操作に役立つ情報が載せられています。操作の詳細はユーザーズマニュアルをご参照ください。

- 1章、**ご使用の前に**では、コンピュータのセットアップおよび外部コンポーネントの識別方法を紹介します。
- 2章、**コンピュータの操作**では、コンピュータのコンポーネントの機能および使用法が説明されています。
- 3章、**電源の管理**では、電源に関する情報が載せられています。
- 4章、**コンピュータの機能拡張**では、周辺装置のインストールおよび使用について説明されています。
- 5章、**BIOSセットアップの使用**では、BIOS設定を行うBIOSセットアップユーティリティプログラムについて説明されています。
- 6章、**ソフトウェア・ドライバのインストール**では、コンピュータのサポートするドライバおよびユーティリティをインストールする方法が説明されています。
- 7章、**コンピュータの手入れ**では、手入れとメンテナンスの方法が説明されています。
- 8章、**トラブルシューティング**では、コンピュータの使用に際して起きる可能性のある一般的な問題の解決方法が説明されています。

ご使用の前に

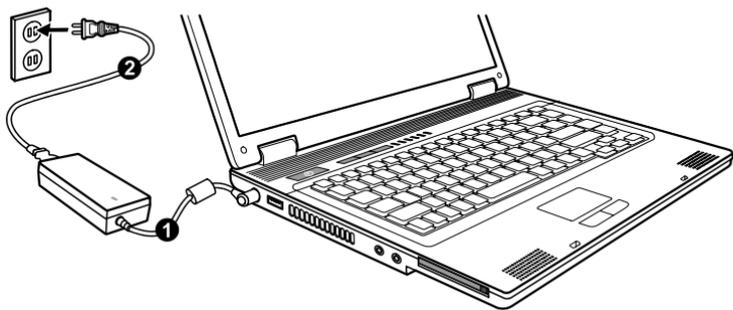
この章では、コンピュータのセットアップ方法をステップ毎に説明します。また外部コンポーネントについても説明されています。

コンピュータを起動する

AC電源の接続

ご注意：コンピュータに同梱のACアダプタのみ使用してください。他のACアダプタを使用するとコンピュータが故障するおそれがあります。コンピュータの電源がオフであることを確認します。

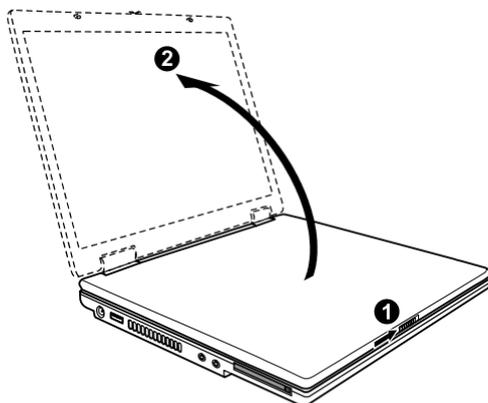
1. コンピュータの電源がオフであることを確認します。
2. ACアダプタのDCコードをコンピュータ後部の電源コネクタに接続します(①)。
3. AC電源コードのメスコネクタをACアダプタに接続し、他端をコンセントに接続します(②)。



4. ACアダプタを接続すると、コンセントからの電力がACアダプタ経由でコンピュータに供給されます。

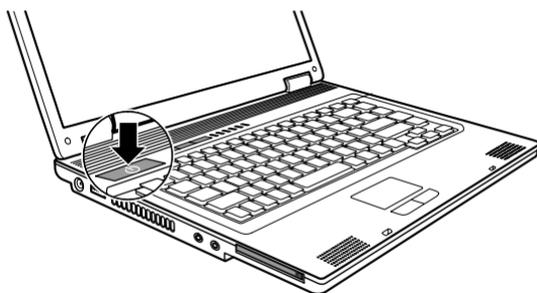
カバーを開く

カバーの留め具を右にスライドさせ(①)カバーを持ち上げて(②)カバーを開きます。カバーは見やすい角度に調節してください。



コンピュータのオン・オフ

コンピュータをオンにするには、電源ボタンを押します。

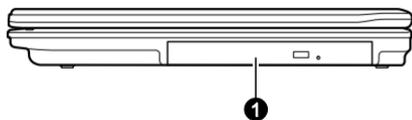


コンピュータをオフにするには、オペレーティングシステムの“シャットダウン”コマンドを使用します。

ご注意：コンピュータをオフにしてから電源を入れ直す場合は、少なくとも5秒間おいてください。コンピュータのオン・オフを直接繰り返すと故障の原因になります。

コンピュータの各部の説明

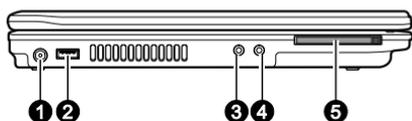
右側のコンポーネント



Ref コンポーネント

- ① コンボ/DVDデュアル/スーパーマルチドライブ

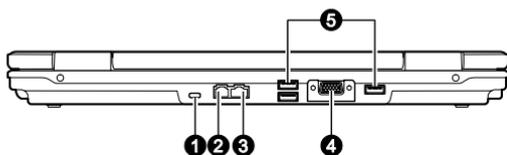
左側のコンポーネント



Ref コンポーネント

- ① 電源コネクタ
- ② USBポート
- ③ オーディオ出力コネクタ
- ④ マイクロホンコネクタ
- ⑤ Expressカードスロット

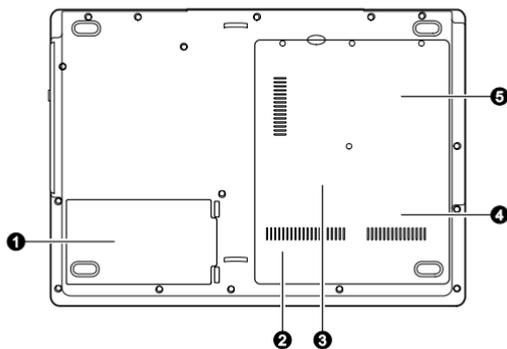
後部コンポーネント



Ref コンポーネント

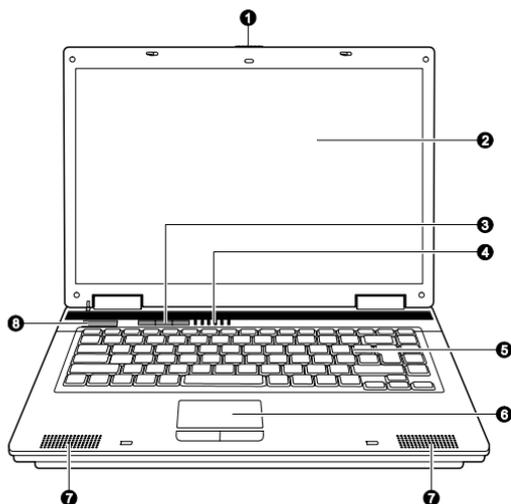
- ① Kensingtonロック
- ② RJ-11コネクタ
- ③ RJ-45コネクタ
- ④ VGAポート
- ⑤ USBポート

底部コンポーネント



Ref	コンポーネント
①	バッテリーパック
②	WLANカードスロット
③	メモリスロット
④	ハードディスクドライブ
⑤	CPUソケット

カバーを開けた状態でのコンポーネント



Ref	コンポーネント
①	カバー留め具
②	LCDスクリーン
③	イージースタートボタン
	Internet Explorer
	Microsoft® Outlook
P1	P1 (プログラム1 - ユーザー設定可能) クイック起動キー
④	デバイスインジケータ
	WLAN
	電源モード
	バッテリー残量
	Capsロック
	Numロック
	DVDドライブ/ハードディスクドライブ
⑤	キーボード
⑥	タッチパッド
⑦	ステレオスピーカーセット
⑧	電源ボタン

コンピュータの操作

この章では、コンピュータの操作に関する情報が提供されています。

コンピュータの起動と停止

コンピュータの起動には電源ボタンを常に使用します。

コンピュータの操作を終えたら、コンピュータをシャットダウンするか、スタンバイやハイバネーションモードにして停止させます。

下記のモードで停止...	操作方法...	起動またはレジューム方法
シャットダウン	ご使用のオペレーティングシステムのシャットダウン手順に従ってください。これで保存されていないデータの消失やソフトウェアプログラムの損傷を防止できます。 ハードウェアまたはソフトウェアの問題でシステムがフリーズした場合は、電源ボタンを押してコンピュータをオフにできます。	電源ボタンを押します。
スタンバイ	Windowsの設定により、以下の方法でスタンバイモードに移行できます。 <ul style="list-style-type: none">● ディスプレイカバーを閉じる● Fn+F12を押す● 電源ボタンを押す	任意のキーを押します。
ハイバネーション	Windowsの設定により、以下の方法でハイバネーションモードに移行できます。 <ul style="list-style-type: none">● ディスプレイカバーを閉じる● Fn+F12を押す● 電源ボタンを押す	電源ボタンを押します。

スタンバイまたはハイバネーションモードを中止すると、次回コンピュータを使用する際に前回操作した状況に復元できます。

イージースタートボタンの使用法

メモ: イージースタートボタン機能を使用するには、お買い上げのコンピュータに付属のESBドライバのインストールが必要です。(詳細は6章をご参照ください。)

イージースタートボタンはキーボード左上に位置する、ユーザー定義可能な3つのプリセットボタンです。



クイックボタンにより、よく使うプログラムをボタン一押しで起動できます(左から右の順に):

-  Internet Explorer
-  Microsoft® Outlook
- **P1** P1 (プログラム1 – ユーザー設定可能)クイック起動キー (詳細はユーザーズマニュアルをご参照ください。)

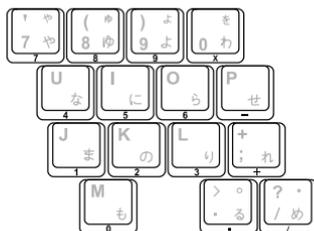
キーボードの使用

カーソル制御キー

キーボードの右下には4個の矢印キー(↑, ↓, ←, →)があり、カーソルの位置を移動します。右側の**PgUp**、**PgDn**、**Home**、**End**キーは画面およびカーソルの動きを制御します。右上には**Insert**および**Delete**キーがあり、編集用に使われます。

数字キーパッド

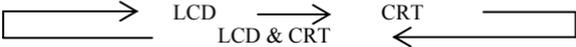
タイプライタ行列キーには15個の数字キーパッドが組み込まれています。数字キーは数字入力や計算に使用します。Num Lockがオンの時、数字キーが有効となり、これらのキーで数字入力が可能になります。



Fnキー

キーボードの左下にある**Fn**キーは、他のキーとの併用で種々の機能が使用できます。“Fn”および対応する機能はキートップに青色で表示されています。

ホットキー

キー	説明
 	ワイヤレスLAN機能のオン・オフを切替えます。 メモ：この機能はオプション装備のMini PCI-EワイヤレスLANカードをインストールしたときのみ有効です。
 	音量を下げます。
 	音量を上げます。
 	外部装置が接続されている場合、ディスプレイ出力を以下の順序で切替えます。  メモ：この機能はプラグアンドプレイ対応の表示装置のみ適用できます。
 	LCDの輝度を下げます。
 	LCDの輝度を上げます。
 	サウンド出力のオフ(ミュート)、オンを切替えます。
 	ディスプレイのオン・オフを切替えます。
 	Windows上で 電源の管理 からの設定により、スリープボタンとして定義できます。(3章の“電源の管理”を参照。)

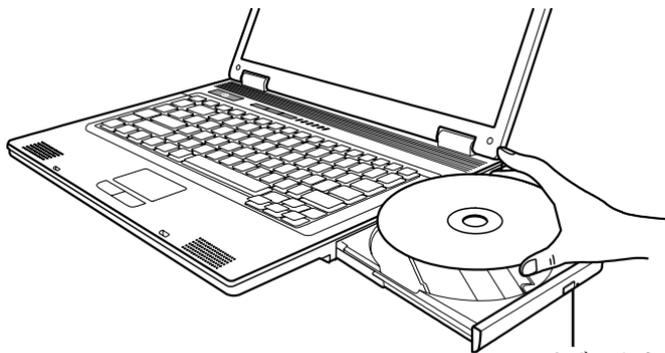
タッチパッドの使用

タッチパッドはコンピュータのポインティングデバイスで、画面上のポインタを移動したり、ボタンによる選択を行うのに使用します。

DVDドライブの使用

ディスクの出し入れ

1. コンピュータをオンにします。
2. イジェクトボタンを押すと、部分のトレイが手前に出てきます。全部の奥行き分は手で静かに引き出してください。
3. ディスクを入れるには、ラベルを上にしてトレイに入れます。トレイの中央をカチッと止まるまで静かに押し込みます。



ディスクを取り出すには、ディスクの縁を持ってトレイから取り出します。

4. トレイを静かにドライブに戻します。

メモ：イジェクトボタンを押してもトレイが開かないといった緊急時には、トレイを手動で開けることができます(8章の“DVDドライブの問題”を参照)。

ビデオ機能の使用

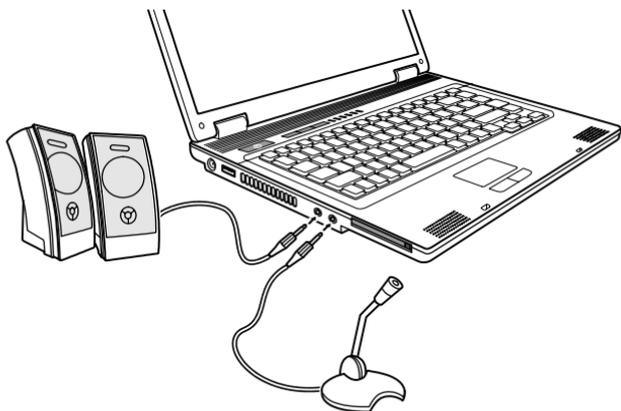
お買い上げのコンピュータは、工場出荷時にデフォルトの解像度および表示カラー数に設定してあります。ご使用のオペレーティングシステムより、この表示設定は変更可能です。具体的な詳細は、ご使用のオペレーティングシステムの説明書やオンラインヘルプをご参照ください。

オーディオ機能の使用

サウンドの再生および録音方法は、ご使用のオペレーティングシステムに依存します。具体的な詳細は、ご使用のオペレーティングシステムの説明書やオンラインヘルプをご参照ください。

オーディオデバイスの接続

より良い音質には、外部オーディオデバイスを接続して音声データの遣り取りを行います。



- オーディオ出力コネクタ(🔊)にはスピーカー、ヘッドホン、イヤホンが接続できます。
- マイクロホンコネクタ(🎤)にはマイクを接続して音声やサウンドの録音ができます。

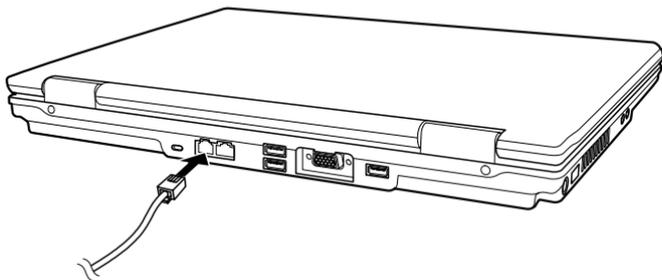
メモ：外部スピーカー/ヘッドホンまたはマイクロホン使用時には内蔵デバイス
は使えません。

通信機能の使用

モデムの使用

メモ：モデムの機能を十分発揮させるには、お買い上げのコンピュータに適した
モデムドライバをインストールする必要があります。

電話線からモデムに入力するには、モデムケーブルの一端をコンピュータのRJ-11ジャックに、他方を電話線に接続します。



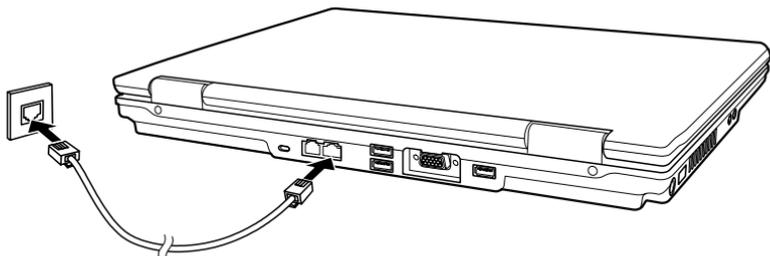
メモ：

- 通信ソフトウェア使用時は、電源の管理を無効にする必要が生じる場合があります。
- モデムのCOMポートはCOM3に設定します。
- モデム通信速度(ボーレート)およびラインの形式(パルスダイヤルまたはトーンダイヤル)等のパラメータを設定してください。
- 通信ソフトウェア使用にはスタンバイモードに入らないでください。

LANの使用

メモ：LANの機能を十分発揮させるには、お買い上げのコンピュータに適したLANドライバをインストールする必要があります。

LANモジュールにネットワークケーブルを接続するには、LANケーブルの一端をコンピュータのRJ-45ジャックに接続し、他端をネットワークハブに接続します。



ワイヤレスLAN電波の使用

メモ：WLANの機能を十分発揮させるには、お買い上げのコンピュータに適したWLANドライバをインストールする必要があります。

お買い上げのモデルによっては、内蔵Mini PCI-EワイヤレスLAN (WLAN) カードが工場出荷時にプレインストールされているものがあります。

WLAN電源のオン・オフ

メモ: FAA (米国連邦航空局)は、ワイヤレス装置を航空機内で操作するのは飛行の安全を妨げると見えています。機内でコンピュータを使用する際はワイヤレスLANの電源を必ずオフにしてください。

Fn+F1ホットキーを押すとWLAN電波のオン・オフができます。

コンピュータ起動時のWLAN電源の状態は、ご使用のBIOSセットアップの**Advanced (詳細設定)**メニューの**Wireless LAN**項目での設定に依存します。(5章の“Advancedメニュー”をご参照ください。)

コンピュータがワイヤレスLAN接続を確立するには約30秒、切断するには約10秒かかります。

メモ: ワイヤレスネットワークへの接続の詳細は、ユーザーズマニュアルをご参照ください。

電源の管理

この章では電源を効率的に管理する方法が説明されています。

バッテリーパック

バッテリーパックの充電

バッテリーパックを充電するには、ACアダプタをコンピュータとコンセントの電源に接続します。充電中は、コンピュータのバッテリー充電インジケータ(電圧)がオレンジに点灯します。バッテリー充電中はコンピュータ電源をオフにすることをお勧めします。バッテリーがフル充電されると、バッテリー充電インジケータは緑に点灯します。

充電時間は下記の通りです：

バッテリーのタイプ	充電時間	
	コンピュータがオフ	コンピュータがオンでアイドル状態
4セル(2000 mAh)	1.5時間	2.3時間
4セル(2200 mAh)	1.7時間	2.7時間
6セル(4400 mAh)	3.0時間	5.3時間

ご注意：コンピュータがフル充電を完了した時点で、直ちにACアダプタを外して接続し直して充電を再開しないでください。バッテリーの故障の原因となります。

メモ：バッテリーパックはフル充電(100%)後、自然に放電(1日当たり0.21%)プロセスを経過します。これはバッテリーパックがコンピュータに装着されているかどうかに関係なく進行します。

バッテリーパックの初期化

バッテリーパックは初回の使用または実際の駆動時間が予想される時間より短くなった場合に、初期化が必要となります。

1. コンピュータの電源がオフになっていることを確認します。ACアダプタを接続してバッテリーパックをフル充電します。
2. バッテリーパックがフル充電されたらコンピュータの電源をオンにします。“Press <F2> to enter System Configuration Utility”が表示されたら、**F2**を押してこのユーティリティを起動します。
3. ACアダプタを外し、コンピュータが完全に放電するまで放置します。コンピュータは自動的にシャットダウンします。
4. ACアダプタを接続して、バッテリーパックをフル充電します。

バッテリー残量の確認

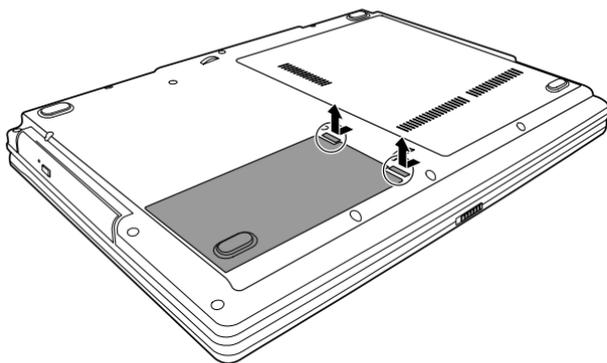
メモ：バッテリー残量表示は推計に過ぎません。実際の駆動時間はコンピュータの使用状況によって推計時間とは異なる可能性があります。

およそのバッテリー残量は、オペレーティングシステムのバッテリーメーター機能により確認できます。Windowsからバッテリー残量を確認するには、タスクバーの  アイコンをクリックします。(ACアダプタ使用時は  アイコンをクリックします。)

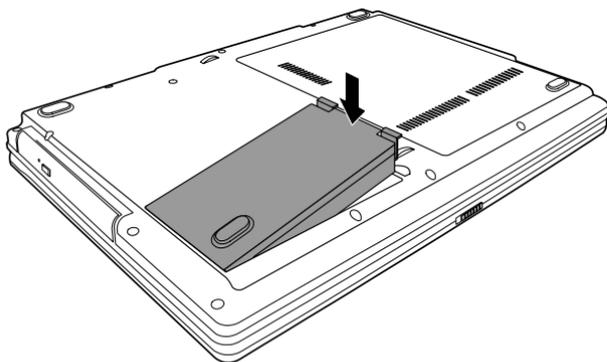
バッテリーパックの交換

ご注意：

- バッテリー交換時の誤った操作は危険の原因になります。バッテリー交換には必ずコンピュータ製造元のオプション装備バッテリーをご使用ください。使用済みバッテリーは販売店の指示に従って廃棄してください。
 - バッテリーパックの解体を試みないでください。
1. コンピュータがオンになっていたり、AC電源に接続されていたりしていないことを確認してください。
 2. コンピュータを裏返しに置きます。
 3. バッテリー固定レバーを両方とも内側にスライドさせ、バッテリーパックをコンピュータから取り外します。



4. 予備のバッテリーパックの端をバッテリー収納部の縁に合わせ、静かに押しつけて場所に収めます。バッテリー固定レバーがカチッと固定されます。



低バッテリー表示および処理

低バッテリーは、バッテリー残量が約10% (Windowsデフォルト設定)の状態を指します。コンピュータの警告用ビープ音が鳴るか、メッセージが表示される、バッテリー残量インジケータ()が赤で点滅して必要な処理をするよう促します。

低バッテリー時にはデータをすぐ保存してください。駆動残り時間はコンピュータの使用状況に依存します。オーディオサブシステム、ExpressCard、ハードディスクまたは光学ディスクドライブ等を使用すると、バッテリーは早く消耗します。

低バッテリー時には必ずスタンバイかハイパネーションモードに移行するか、コンピュータをシャットダウンするか、ACアダプタを接続してください。何もしない場合は、コンピュータは自動的にハイパネーションに入り、電源が切れます。

電源の管理

お買い上げのコンピュータは電源の管理としてACPI (Advanced Configuration and Power Interface)をサポートしています。電源管理機能により、電力消費を押さえてエネルギーを節約します。Windows XP等のACPI準拠のオペレーティングシステムでは、電力が各コンピュータのコンポーネントに必要なに応じて供給されます。これにより省電力とパフォーマンスの最大化が同時に可能となります。

電源管理に関する詳細な情報はWindowsのヘルプをご参照ください。

省電力のヒント

- 電源管理機能をオフにしないでください。
- LCD輝度を見づらくならない範囲でできるだけ下げます。
- ExpressCardを使用するアプリケーションは、使用后終了させます。
- ExpressCardをインストールしている場合、使用しない場合は取り外してください。ExpressCardによっては、非動作時にも電力を消費するものがあります。
- WLAN機能を使用しない場合はオフにしてください。(2章の“WLAN電源のオン・オフ”をご参照ください。)
- コンピュータを使用しない場合は、オフにしてください。

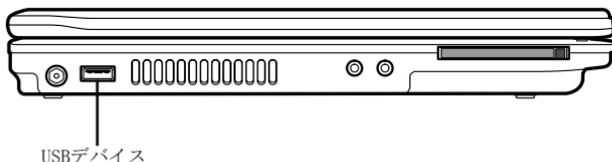
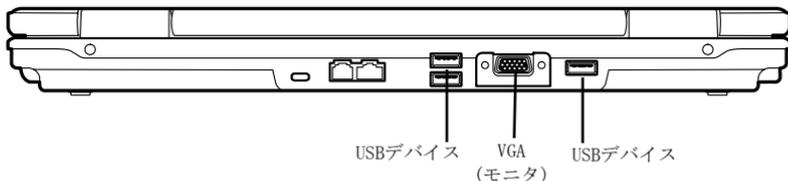
コンピュータの機能拡張

この章では、コンピュータの機能を拡張するオプション装置のインストールおよび使用方法について説明しています。

周辺デバイスの接続

各種周辺デバイスを接続することで、コンピュータの機能が拡張できます。デバイス使用時には付属する説明書をよくお読みください。

1. コンピュータおよび周辺デバイスの電源が入っていないことを確かめます(USBデバイス以外)。
2. 周辺デバイスをコンピュータに接続します。
3. デバイスにパワースイッチがある場合は、コンピュータの電源を入れる前に周辺デバイスをオンにします。



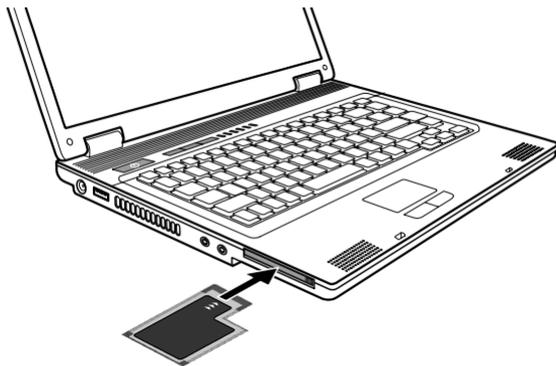
ExpressCardsの使用

メモ: ExpressCardインタフェースはPCカードインタフェースとの互換性はありません。お買い上げのコンピュータでPCカードを使用するにはオプションのアダプタが必要となります。

お持ちのコンピュータのExpressCardスロットには幅54 mm (ExpressCard/54) または34 mm (ExpressCard/34)のExpressCardが装着可能です。

ExpressCardの装着方法:

1. コンピュータ左側にあるExpressCardスロット位置を確認します。
2. ExpressCardのラベル面を上にしてスロットにカチッと止まるまで入れます。



3. カードが新たに装着されると、コンピュータはそれを検出し適したドライバのインストールを開始します。画面上の指示に従って操作を完了してください。

ExpressCardの取り外し:

1. Windows XPのタスクバーにあるハードウェアの安全な取り外しアイコンをダブルクリックします。これで画面にハードウェアの安全な取り外しウィンドウが表示されます。
2. リスト中のExpressCardを選択(ハイライト表示)し、カードを停止させます。
3. ExpressCardを軽く押してカードをリリースします。
4. カードをスロットから取り出します。

BIOSセットアップの使用

システムコンフィギュレーションユーティリティ(SCU)は、コンピュータのBIOS(基本入出力システム)設定を行うプログラムです。

BIOSセットアップの起動

BIOSセットアップユーティリティを起動するには、システム起動中画面にプロンプトが表示されたら**F2**を押します。

Mainメニュー

System Time ではシステム時刻を設定します。

System Date ではシステム日付を設定します。

Advancedメニュー

Frame Buffer Size では、ビデオコントローラの共用メモリサイズを設定します。

メモ：

- この項目は**Legacy VGA**および**SVGAモード**のみを対象としています。Windowsモードではフレームバッファサイズは、システムメモリサイズに基づいてVGAドライバにより自動的に割り当てられます。
- フレームバッファサイズを増やすとビデオサブシステムの性能は向上しますが、システムメモリは減少します。

Battery Low Warning Beep では、システムが低バッテリー状態(容量の10%未満)になると、4秒おきにビーブ音で通知します。システムがPOST(電源オン時のセルフテスト)状態やBIOSセットアップには適用されません。

POST Beep では、POST(電源オン時のセルフテスト)完了時のビーブ音通知をオン・オフします。

Wireless LAN では、次回にコンピュータを起動した際のワイヤレスLANの状態を設定します。*Off*に設定するとWindows起動時にワイヤレスLANはオフになります。*Last State*に設定するとWindowsは前回シャットダウン時のワイヤレスLANの状態です。

Securityメニュー

Supervisor/User Password Is では、システムに管理者/ユーザーパスワードを設定しているかどうかが表示されます。

Set Supervisor/User Password では、管理者/ユーザーパスワードを設定します。パスワードを入力する際は、Numロックがオフになっていることを確認し、入力欄にパスワードを入力後**Enter**を押します。確認のためパスワードを再入力してから**Enter**を押します。システム起動時、SCUに入る時に管理者/ユーザーパスワードの検証が必要な場合、“Verify password when...”セクションで設定を行ってください。

メモ:

- ユーザーパスワードの設定は、管理者パスワードが設定されている場合にのみ有効です。
- 管理者およびユーザーパスワードの双方が設定されている場合、システム起動またはBIOSセットアップ起動用にいずれのパスワードでも利用できます。ただし、ユーザーパスワードで表示/設定可能な項目には制限があります。

Password on Boot では、システム起動時のパスワード入力を有効または無効にします。パスワードが正しく設定され、この項目が有効の場合は、システム起動時にパスワード入力が必要とされます。

Bootメニュー

起動可能デバイスがPOST実行中に自動検出され一覧が表示されます。ここではBIOSがオペレーティングシステムをロードする起動デバイスの検出順序を指定できます。

キーボード機能の簡単な説明が以下に示されています。

キー	機能
↑, ↓	起動デバイスを選択(ハイライト表示)します。
+, -	起動順序を変更します。
X	ハイライト表示の起動デバイスを“Boot priority order”リストから“Excluded from boot order”リストに移動、または逆に移動します。
Shift + 1	“Boot priority order”リストでハイライト表示された起動デバイスを非アクティブ/アクティブにします。デバイスが非アクティブに設定されると、“!”(感嘆符)マークが項目の横に表示され、POST実行中の起動デバイス検出の対象から外されます。

メニューのExit

Exit Saving Changes は、変更された設定を保存してBIOSセットアップユーティリティを終了します。

Exit Discarding Changes は、変更された設定を保存せずにBIOSセットアップユーティリティを終了します。

Load Setup Defaults は、全ての項目において工場デフォルト設定をロードします。

Discard Changes は、BIOSセットアップユーティリティ起動前のCMOS設定値をロードします。

Save Changes は、変更された設定を保存します。

ソフトウェア・ドライバのインストール

この章では、コンピュータのユニークな機能を充分发挥するのに必要なドライバのインストール方法が説明されています。

ドライバCDの使用方法

メモ：

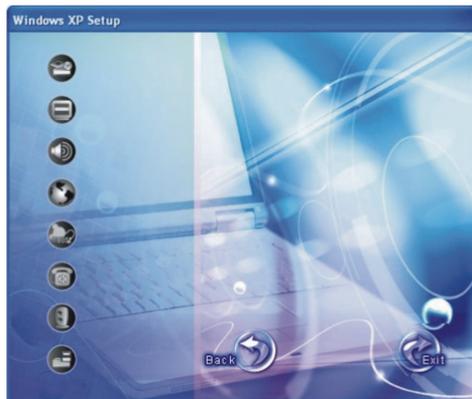
- ドライバは当マニュアル出版後に更新されている場合があります。ドライバの更新については代理販売店にお尋ねください。
- このCDはWindows XPのみをサポートします。Windows XP Service Pack 2のインストールが勧められています。
- 利用可能な項目はお持ちのコンピュータモデルによって異なる場合があります。
- ドライバインストール時にはドライバCDを取り出さないでください。

ドライバCDには、ドライバが容易にインストールできるようオートランプログラムが組み込まれています。CDをドライブに入れると、オートランプログラムが起動し、メイン画面が表示されます。プログラムをマニュアル起動する場合は、ディスクのWsetupディレクトリ内のSetup.exeプログラムを実行してください。



必要なドライバのインストールには、**INSTALL DRIVER**をクリックしてください。下図のような画面が表示されたら、左側の対応するアイコンをクリックすることでインストールが開始されます。

-  チップセット
-  ビデオ
-  オーディオ
-  LAN
-  タッチパッド
-  モデム
-  WLAN
-  ESB



コンピュータのお手入れ

この章では種々のメンテナンスでのガイドラインが説明されています。

使用場所のガイドライン

- コンピュータの環境温度は10°C (50°F)から35°C (95°F)の範囲でお使いください。
- 高温、多湿、機械的振動、直射日光、埃の多い環境にコンピュータを置かないでください。
- コンピュータの開口部はいずれも塞がないでください。例えば、コンピュータをベッド、ソファ、毛布などの上に置かないでください。このような場所に置くと、コンピュータが過熱し故障するおそれがあります。
- コンピュータは、テレビ、冷蔵庫、モーター、大型のオーディオスピーカーなどの強い磁界を発生する電子機器から最低13 cm (5インチ)離してご使用ください。
- コンピュータを寒い場所から急に暖かい場所に移動しないでください。温度差が10°C (18°F)を超えるとユニット内部に結露を生じ、ストレージメディアを損傷する可能性があります。
- コンピュータを不安定な場所に置かないでください。

一般的なガイドライン

- コンピュータを閉じた状態で重い物を上に置かないでください。ディスプレイ部に損傷を与えるおそれがあります。
- スクリーン表面には傷が付きやすいです。ペーパータオルなどで拭かないでください。指やペン、鉛筆などで触れないでください。
- ディスプレイのバックライトの寿命を延ばすには、電源の管理によりバックライトが自動的にオフになるよう設定します。電源管理を無効にするスクリーンセーバーやその他ソフトウェアは使用しないでください。

清掃のガイドライン

- コンピュータの電源を入れたまま清掃しないでください。

- 水か非アルカリ洗剤で湿らせた柔らかい布でコンピュータの外回りを拭いてください。
- ディスプレイ部は柔らかで糸くずのでない布で拭きます。アルコールや洗剤は使用しないでください。
- タッチ패드上のホコリや油脂は感度に影響します。粘着テープを使ってタッチ패드上のホコリや油脂を取り除いてください。

バッテリーパックの取扱い

- バッテリーパックはほぼ放電したときに充電してください。充電時にはフル充電してください。これでバッテリーパックへの損傷を防止できます。
- 外部電源使用時でもバッテリーパックはコンピュータに装着した状態でご使用ください。これでバッテリーはフル充電されます。
- コンピュータを長期間使用しない場合(2週間以上)、コンピュータからバッテリーパックを取り外してください。
- バッテリーパックを外した際は、バッテリーの端子が金属片や水などの導体に触れないようご注意ください。接触するとショートして使用不能になります。
- バッテリーパックを保管するには、涼しくて乾燥した場所を選んでください。60°C (140°F)を超える場所に保存しないでください。
- バッテリーパックを6か月以上充電せずに放置しないでください。

旅行時

- 旅行時にコンピュータを携えて行く場合、ハードディスク内のデータをフラッシュメモリまたはその他ストレージ装置でバックアップしてください。念のため重要なデータのコピーをご持参ください。
- バッテリーパックがフル充電されていることを確認してください。
- コンピュータの電源がオフになり、カバーが閉じられていることを確認してください。
- キーボードとディスプレイの間に物を挟んだままで閉じないでください。
- ACアダプタをコンピュータから外して携帯します。ACアダプタは電源またはバッテリー充電器として使用します。
- コンピュータは機内持ち込み扱いにしてください。チェックイン時に預ける荷物に入れないでください。
- コンピュータを車に置いておく場合は、トランクに入れ高熱にさらされないようご注意ください。
- 空港のセキュリティポイントを通る際は、コンピュータやフロッピーディスクをX線マシン(バッグを通す機械)に通すようお勧めします。磁気探知機(人が通る部分)や磁気センサ(セキュリティ人員が手で持つ装置)には通さないようお勧めします。

- コンピュータを海外旅行にご持参になる場合は、目的地の国で使用可能なAC電源コードを代理販売店にお問い合わせください。

トラブルシューティング

この章では、一般的に生じるコンピュータのトラブルの解決方法が説明されています。

一般的なトラブルの解決

バッテリーの問題

バッテリーに充電されない(バッテリー充電インジケータがオレンジに点灯しない)。

- ACアダプタが正しく接続されていることを確認します。
- バッテリーが熱すぎたり冷たすぎたりしないか確認します。バッテリーパックが室温に戻るまで待ちます。
- バッテリーパックが正しく装着されていることを確認します。
- バッテリーの端子が汚れていないか確認します。

フル充電のバッテリー駆動時間が短くなっている。

- 充放電を繰り返すと、バッテリーは本来のフル充電量まで充電されなくなります。問題解決にはバッテリーを初期化してください(方法は3章“バッテリーパックの初期化”をご参照ください)。

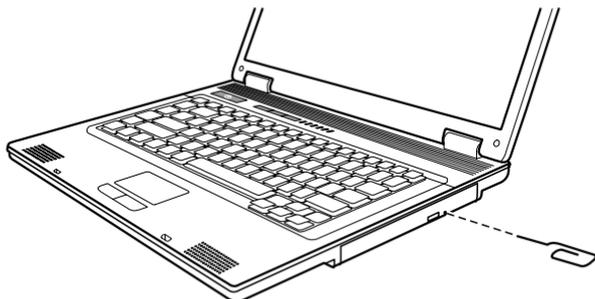
バッテリーメーターの示す駆動時間が実際の駆動時間と一致しない。

- 実際の駆動時間は、コンピュータの使用状態に依存し、推計駆動時間とは異なります。実際の駆動時間が推計駆動時間よりとても短い場合は、バッテリーを初期化してください(方法は3章“バッテリーパックの初期化”をご参照ください)。

DVDドライブの問題

ディスクを取り出せない。

- ディスクがドライブのトレイに正しく置かれていません。下記の方法でディスクを手動で取り出します。
 1. システムをオフにします。
 2. 真っ直ぐにしたゼムクリップなどの細い針金をドライブの手動イジェクトホールに入れ、静かに押すとトレイが開きます。
 3. トレイを引きだし、ディスクを取り出します。



DVDドライブでディスクが読み込めない。

- ディスクが正しく置かれていることを確認します。ラベル面は上向きです。
- ディスクが汚れていないか確認します。一般のパソコンショップで購入可能なディスククリーニングキットでディスクをクリーニングします。
- ディスクがコンピュータのサポートするタイプであること、中にファイルが存在することを確認します。

ディスプレイの問題

画面に何も表示されない。

- 操作中、電源管理の機能により画面が自動的にオフになる場合があります。何かキーを押して画面が戻らないか試してみます。
- 輝度レベルが低すぎる場合があります。**Fn+F7**を押して輝度を上げてみます。
- ディスプレイ出力が外部デバイスに設定されている場合があります。表示をLCDに切替えるには**Fn+F5**を押すか、画面プロパティから表示設定を変更します。

スクリーン上の文字が暗い。

- 輝度またはコントラストを調節します。

ディスプレイに幾つかの点が表示されたままになる。

- スクリーン部の非表示、変色、常時表示のドットが数個見つかるのはTFT LCDの特性であり、LCDの故障とは見なされません。

解像度が望む設定に調節できない。

- ビデオドライバが正しくインストールされているか確認してください。

外部モニタに何も表示されない。

- モニタの電源がオンであることを確認します。
- モニタの信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- 表示先を**Fn+F5**を押してモニタに切替えるか、**画面**プロパティから表示設定を変更します。

同時表示/マルチ表示が機能しない。

- コンピュータの電源より先に外部モニタの電源をオンにします。
- 表示先を**Fn+F5**を押して切替えるか、**画面**プロパティから表示設定を変更します。

ExpressCardの問題

ExpressCardが機能しない。

- ExpressCardが正しく装着されていることを確認します。
- カードにIRQ (Interrupt ReQuest)が必要な場合、使用可能な番号があることを確認します。

ExpressCardとの通信が中断する。

- コンピュータがオフになるかスタンバイモードではアプリケーションがリセットされる場合があります。アプリケーションを一度終了し、もう一度起動してください。

ハードウェア装置の問題

コンピュータが新しくインストールしたデバイスを検出しない。

- デバイスがBIOSセットアップユーティリティプログラムで正しく設定されていない可能性があります。
- BIOSセットアップユーティリティプログラムを起動して新たな装置を設定します。
- デバイスにドライバのインストールが必要ないか確認します(デバイス付属の説明書をご参照ください)。
- ケーブルや電源コードが正しく接続されていることを確認します。
- 外部デバイスに電源スイッチがある場合は、そのスイッチがオンになっていることを確認します。

ハードディスクドライブの問題

画面にハードディスクドライブエラーが表示される。

- ハードディスクドライブが故障しています。販売店にお問い合わせください。

ハードディスクドライブの動作が遅く感じられる。

- ハードディスク上のデータがフラグメント化(断片化)しています。Windowに添付されるディスクデフラグなどでファイルのデフラグを実行してください。

ハードディスクドライブのアクセスインジケータが点滅せず点灯したままになる。

- ハードディスク上のデータがフラグメント化(断片化)しています。Windowに添付されるディスクデフラグなどでファイルのデフラグを実行してください。

キーボード、マウス、タッチパッドの問題

キーボードが反応しない。

- 外部キーボードを接続してみます。これで機能するなら、内蔵キーボードのケーブルが接続不良である可能性があるので、当社指定販売店にご連絡ください。

数字キーパッドが機能しない。

- Num Lockがオンになっていることを確認します(Num Lockインジケータ  の点灯状態)。

外部キーボードが機能しない。

- キーボードケーブルが正しく接続されていることを確認します。

USBマウスが機能しない。

- マウスケーブルが正しく接続されていることを確認します。

タッチパッドが機能しないか、ポインタの移動が困難である。

- タッチパッドドライバが正しくインストールされていることを確認します。
- タッチパッドが汚れていないか確認します。

LANの問題

ネットワークにアクセスできない。

- LANドライバが正しくインストールされていることを確認します。
- LANケーブルが正しくRJ-45コネクタおよびネットワークハブに接続されていることを確認します。
- ネットワーク設定が適切であることを確認します。
- ユーザー名およびパスワードが正しいか確認します。

WLANの問題

WLAN機能が使えない。

- Mini PCI-E WLANカードが正しくインストールされていることを確認します。
- 必要なドライバが正しくインストールされていることを確認します。
- WLAN機能がオンになっていることを確認します。

受信状態が悪い。

- コンピュータが電波の届きにくい場所にある可能性があります。コンピュータをアクセスポイントまたは関連づけられたWLANデバイスに近づけてみます。
- 周囲に干渉がないかチェックし、下記の方法で解決します。

電波干渉が存在する。

- コンピュータを電子レンジや大きな金属製物体などの電波干渉を起こすデバイスから遠ざけます。
- 影響しているデバイスとは異なる電源回路にコンピュータ電源を接続します。
- 販売店または電波干渉に関する経験のある技術者に問い合わせます。

他のWLANデバイスに接続できない。

- WLAN機能がオンになっていることを確認します。
- SSID設定が同一ネットワーク上で個々のWLANデバイスに対して同じく設定されていることを確認します。
- コンピュータが設定変更を検出していない場合があります。コンピュータを再起動してみます。
- IPアドレスまたはサブネットマスク設定が正しいか確認します。

インフラストラクチャモード設定においてネットワーク上のコンピュータと通信できない。

- コンピュータと関連づけられるアクセスポイントの電源がオンであり、全てのLEDが正しく表示されていることを確認します。
- 作動中のラジオチャンネルの受信品質が良くない場合は、アクセスポイント並びに全てのワイヤレスステーションを同一BSSID内の他のラジオチャンネルに変更してみます。
- コンピュータが電波の届きにくい場所にある可能性があります。コンピュータを関連づけられたアクセスポイントに近づけてみます。
- コンピュータとアクセスポイントのセキュリティオプション(暗号化)が同じ設定であることを確認します。
- アクセスポイントのウェブマネージャ/Telnetで、ネットワークへの接続を確認します。
- アクセスポイントを再設定し、再起動させます。

ネットワークにアクセスできない。

- 必要なドライバが正しくインストールされていることを確認します。
- ネットワーク設定が適切であることを確認します。
- ユーザー名およびパスワードが正しいか確認します。

- ネットワーク利用範囲外にいる可能性があります。
- 電源管理をオフにします。

モデムの問題

モデムが機能しない。

- モデムドライバが正しくインストールされていることを確認します。
- 電話線が正しく接続されていることを確認します。
- 通信ソフトウェアにおいてCOMポートが正しく設定されていることを確認します。
- 電源管理をオフにします。

電源管理の問題

コンピュータが自動的にスタンバイやハイバネーションモードに移行しない。

- 他のコンピュータと接続している場合、接続が実際に使用中なら、コンピュータは自動的にスタンバイやハイバネーションモードには移行しません。
- スタンバイやハイバネーションのタイムアウトが有効になっているか確認します。

コンピュータのスタンバイやハイバネーションモードへの移行に遅れがある。

- 一般的にコンピュータが作動中の場合、操作が終わってからモード移行します。

コンピュータがスタンバイやハイバネーションモードからレジュームしない。

- バッテリーパックの残量がなくなると、コンピュータは自動的にスタンバイやハイバネーションモードに移行します。以下のいずれかを実行してください。
 - ACアダプタをコンピュータに接続します。
 - 放電したバッテリーパックをフル充電されたものに交換します。

コンピュータがFn+F12ホットキーでハイバネーションモードに移行しない。

- ハイバネーション機能がスリープボタンに対して設定されていることを確認します。
- ExpressCard使用中はハイバネーションモードへの移行ができない場合があります。モード移行には、通信ソフトウェアを終了し、カードを外すか停止させます。

ソフトウェアの問題

アプリケーションプログラムが正しく機能しない。

- ソフトウェアが正しくインストールされていることを確認します。
- 画面にエラーメッセージが表示される場合は、ソフトウェアプログラムの説明書を参照してさらなる情報を得ます。
- 操作が停止した場合は、コンピュータをリセットします(本章後述の“コンピュータのリセット”をご参照ください)。

サウンドの問題

音が出ない。

- ボリュームコントロールの設定が小さすぎないことを確認します。
- オーディオドライバ正しくインストールされていることを確認します。
- コンピュータがスタンバイモードではないことを確認します。
- 外部スピーカーを使用中であれば、スピーカーが正しく接続されていることを確認します。

音がひずむ。

- 音量が過小、過大でないことを確認します。大部分の場合、大きすぎる音量により音がひずみます。

サウンドシステムで録音できない。

- 再生または録音レベルを調節します。

外部マイクやオーディオデバイスが機能しない。

- マイクが正しくコンピュータに接続されているか確認します。
- コンピュータに必要なドライバがインストールされているか確認します。
- タスクバー上のスピーカーのアイコンをクリックしてWindowsのボリュームコントロールを確認します。
- コンピュータの音量調節を確認します。

起動時の問題

コンピュータの電源を入れても反応せず、電源状態インジケータも青く点灯しない。

- 外部AC電源を使用している場合、ACアダプタが正しく接続されているか確認します。問題なければコンセントに電力が供給されているか確認します。
- バッテリー電源を使用している場合は、バッテリーが放電していないか確認します。

コンピュータの電源を入れると、POSTの後で止まってしまう。

- コンピュータを再起動します。

コンピュータの電源を入れると、“Operating system not found”のメッセージが画面に表示される。

- ハードディスクから起動中にこのメッセージが表示される場合、ブータブルCDをDVDドライブに入れ、ハードディスクの状態をチェックします。

コンピュータの電源を入れると、“Invalid system disk”または“Disk error”のメッセージが画面に表示される。

- CDからの起動を試みている場合は、ブータブルCDを入れ何かキーを押して起動を続行します。
- ハードディスクから起動中にこのメッセージが表示される場合、ブータブルCDをDVDドライブに入れ、ハードディスクの状態をチェックします。

その他の問題

日時が合っていない。

- オペレーティングシステムまたはBIOSセットアップユーティリティプログラムから日時を調節します。
- 上記の方法で操作しても日時がいつも不正確になる場合は、RTC(リアルタイムクロック)バッテリーの寿命が来ています。当社指定の代理販売店にご連絡になり、RTCバッテリーを交換します。

コンピュータのリセット

コンピュータでエラーが生じてプログラムがハングアップした場合、コンピュータのリセット(再起動)が必要となります。動作が停止しオペレーティングシステムによる“再起動”が行えない場合、下記の方法のいずれかでコンピュータを再起動させます。

- **CtrlとAltとDel**キーを同時に押します。
- 上記操作が無効の場合は、電源ボタンを押し続けてシステムを強制的にオフにします。最低5秒待ってから電源を入れ直します。

注意: リセットにより、保存されていないデータは失われます。